

壮年会だより

< 6月15日(日) >

1. 財務報告
5/6 補修工事代金支払い・・・17,490,000円
2. お知らせコーナー
 - ▶ 聖歌の集い(4/27、二俣川教会、石井さん他出席)
 - ▶ 山崎神父様御出張(5/23～26、新潟、日本鉄道カトリックの会)
 - ▶ 末吉町教会120周年記念祭(4/29)、藤が丘教会献堂式(5/5、清水委員長出席)
 - ▶ 宣教委員会(5/18、藤沢教会、七浦さん)
 - ▶ 第一回バザー委員会(5/25)・・・バザー券の発行(額面100円券を10枚綴りー1000円ーを200組、売上げ20万円目標)。次回は6/22を予定。
 - ▶ 山崎神父様霊名の祝日(6/29、霊的花束及びお祝い金一封)
 - ▶ 山崎神父様研修会御出張(6/30～7/3、中軽井沢教会、当番のお願い)
3. 第8回卓球大会
8/31を予定・・・一ヶ月前に抽選会(清水委員長)
4. 敬老会
予算・・・13万円
5. 御聖堂の清掃について
婦人会から第二、四日曜日にやっている程度の清掃を毎日曜日やっていただいたら有り難いとの提案。
6. 冠婚葬祭の料金取り決めについて(案)
(参考)
 - ▶ 二俣川教会: 葬儀; 15万円、結婚式; 信者10万円、未信者15万円
 - ▶ 山手教会: 葬儀; 特に取り決めていない。結婚式; 15万円
 他教会の情報を集めていただきたい。
7. 一粒会報告

婦人会だより

<6月15日(日) 33名出席>

1. 委員会報告
2. 神父様の霊名のお祝いに図書券を差し上げます。
3. 吉田まき子さんが聖母の園に入園されました。
4. 6月1日、8日古着の販売を致しました。
売上げが41,920円ありました。皆様のご協力有り難うございました。
5. お掃除の件(お聖堂の床の掃除について)
再検討の結果、毎日曜日に皆であることが多数決で決まり、委員会へ持って行きます。新集會室は各週で判断して、行って下さい。
6. バザー委員会からのお知らせ
食堂はカレーライス、おでん、お汁粉、紅茶、ケーキと決まりました。
7. 婦人同志会からのお知らせ
7月17日(木)「信仰の立場から部落差別を考える」林建久師(三浦海岸教会主任司祭)於カトリックセンター
8. お尋ねのあった遠足の会計報告を致しました。

人数 39名		
収入	参加料金 7000×39	273,000円
支出	バス代	136,500円
	有料道路	7,300円
	傷害保険代	7,800円
	旅行取扱い料	12,285円
	昼食代	59,850円
	乗船代	22,572円
	乗務員昼食代、寸志	4,470円
	不参加社返金(1名)	3,500円
	参加者返金(38名)	19,000円
	支出合計	273,277円
	過不足	-277円

婦人会会計より浅草教会献金3,000円と不足分277円を使いました。

遠足に補助金を出した方が良かったのではないかとこのご意見があり、次の機会にお話し合いをしたいと思ひます。

次回例会7月20日(日) 次回当番はA地区です。

ご協力を!! 広報委員からのお願い

私事で恐縮ですが、仕事柄大変忙しく、毎月締め切りと格闘しながら広報を作成して参りました。特に今年に入ってからは、海外出張の合間をぬって何とか完成させている状況ですが、原稿が予定通りに、また期日通りに集まらないこともあり、益々厳しい状態に追い込まれております。勿論、きちんとご協力下さっている方々、積極的に投稿して下さる方々には、心から感謝申し上げます。

そこで、これまでも申し上げて来たことですが、再度皆様にお願ひ申し上げます。

1. 原稿は期日通りに提出下さい。締め切りは第4日曜日です。(第5週がある月もです。第4週に全ての原稿が集まることを前提に、作業予定を組んでおります。勿論早ければ早いほど有り難いのです。)
2. 青少年コーナーに是非ご協力下さい。このコーナーは、青少年向けの内容を投稿頂くことにより、または若い方々からの積極的な投稿により、若い人達に興味を持って読んで頂きたいという趣旨のものです。例えばテーマを決めて色々な意見を紙上討議していくなど、活性化を図れるのではと思ひております。
3. 原稿は勿論手書きで結構ですが、もしワープロやパソコン通信、インターネット等をやっている方は、是非ネットワークで投稿頂けると大変助かります。アドレスは下記の通りです。

NIFTY SERVE: GEG00732

InterNet E-mail address: fwii4898@mb.infoweb.or.jp

またプリントアウトした原稿も大歓迎です。

以上。(97.7.12)

今月の予定

委員会	7月6日
庭の手入れ	7月20日
サロン	7月13, 27日
レジオ	7月11, 18, 25日



第227回

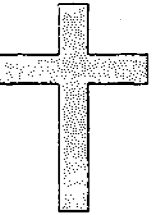
カトリック中和田教会
 広報委員会発行
 泉区中田北1丁目9-1
 Tel. (045) 803-6141
 1997年7月13日



一九九七年の四旬節

第四の主日 メッセージ ③

山崎 正俊



◎ 満七十九才にもなって、やっと此のことに気付かされたことは、遅いとはいっても有り難い。いますこしは生きつづけられると思えるのも、事の真相をたしかめ伝えられるかもしれないので、その意味を、神様のおはからいとして、信仰に生きる者のよろこびと見るなら、それなりの値打ちとなる。

私自身は、これまで、両親に対していろいろと不満を感じていた。そのことで逆らうことにより、私の生き方が開かれると信じていたからで、それは単に、私の願うところと両親の期待とが同じではなかったということ、いま思うに、私の視野の片寄りのため、両親の人生経験とか、信仰による考え方や生き方によるものが受け入れにくかっただけで、私の私なりの在り方が、両親の眼からすればきみようなものであったのは、当然です。

(私は両親にしたがうような振りをして、家を離れました。そこでは、自由にカトリック教会にかよい、だまって洗礼を受け、そのうえに深入りをして、司祭への道をえらんでしまい、他のことは考えずに、自分の信仰に徹して生きることにしたのです。そのまま、後には引かなかったのに、両親には形のうえでも、私に同調していただけたのです。胸のうちではナットクできないところを改め、反省しつづけたりしながら、それでも、しっかりとイエズス様にしがみつき、さらに、聖パウロの模範にならうのです。

(イエズス様を呪うような立場にいた、フェリザイ派の学者としての考えのなかにあった『まことの神への信仰』を、イエズス様のほうに振り向けた聖パウロの偉大さに打たれたまま、誰

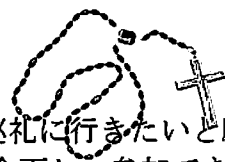
に何を感謝したらよいか、わからないのに、イエズス様をとおして示されている御父のイタクシミを、感じとれることになったのです。――あのひどい痛めつけられかたをされたアブラハムの、イザアクを殺そうとするときの神様の御姿に感謝しなければならぬのですか、などは奇妙な反論をしたものです。それにお応えしようという気持ちがつよまっても、なお自分を強いて、『その在り方』に感謝しなければならぬなどとは、この喜びは、あまりにもツライ。

◎ 聖パウロが、このアブラハムとイザアクの話、キリスト信徒の心得としての『大切なもの』として、選んでいるのは何故か。(そこには、カトリック教会では、『信仰のワザ』によって救われていると頑固に主張しているらしいのに、あのマルチン・ルーテル師は、『信仰によってのみ』義とされたのだと、アブラハムの子殺しの決意を、たたえている。そんなにむつかしい解釈の対立がおこるところを、あのローマへの便りに、何故か聖パウロは引用している。他の部分だったらこれほどのむつかしさはなかったろうのに。(そのために、特に尊敬しなければならないと思ひはじめた、いまは亡き神学校の教授の上智大学の講堂での、公開講座での説明に、あのマルチン・ルーテル師の立場に賛意を呈して、私の心にいまでも忘れられないほどの印象付けをされた。) ああ、何故に、何故にあのとき、このことを聞かされたのか。「ルーテルの説明のほうに、理がある」とは、不思議な御撰理よ。はじめから予定していたかのように、ためらうことなく書きつがされる。



秋田の聖母像巡礼と盛岡観光

花坂 昌子



以前から一度、秋田の聖母像巡礼に行きたいと願っていた。今年のNRC(日本鉄道カトリックの会)全国大会で企画し、参加できると知り、早速申し込んだ。山崎神父様とは、現地で合流とのことで、婦人会十七名、五月にしては寒い風の吹く朝、六時四十分、戸塚駅を出発した。親しい人達との心弾む二泊三日の旅が始まった。ラッシュにもまれ、東京へ、東北新幹線やまびこ一号は八時出発した。車中では、仕事も家事も忘れての語らいが続く。仙台を過ぎて盛岡に十時二十六分着、分散してタクシーで四ツ家教会へ聖体訪問、外人の神父様が出迎えて下さった。二階建ての大きな教会、聖堂には信徒信教をステンドグラスに描いた小窓が十数個、正面の祭壇を側面からも使い、アコーデオンで仕切り、小聖堂に仕立てたアイディアは、寒い地方ならではの知恵と思われる。近くで名物ソバの昼食をとり、小型バスのタクシーで、紺野町界限へ。みちのくあかね会へ寄り、ホームスパンの製造を見学した後、報恩寺に参拝した。五百羅漢尊者が、様々な姿、顔をして持法三昧入っておられ、なんともユニークで楽しい。「辻の橋」でバスから降り、曇り空の下、寒さにふるえながら、盛岡発十五時二〇分こまち三号で秋田經由大久保駅に着いたのは十八時。八郎潟ハイツの送迎バスでホテルに向かう。百二十人に近いNRCの方々、神父様と合流、夕食を共にした。翌朝六時起床、朝食後、二台の観光バスで、湯沢台の聖体奉仕会修道院へと向かった。

現地に着き、山小屋風の建物の中に、聖母像は、花とローソクの焔に囲まれて立って居られた。木彫りでおよそメートル、瓜実顔で、濃い眉は日本女性そのもの。口元、顎の辺りにきざまれた深い悲しみを、一心にこらえて居られる表情は、今そこに生ある御姿と思われて、はっとする程の感銘を受けました。瞳から涙を流され、手のひらからは血を流された、二千人もの人が目撃した事実が、現実起こったことだと感じた。ミサが始まり狭い聖堂に百人もの人々の聖歌の響きに圧倒された。近くのマリア庭園は広々と美しく、ロザリオを唱えながら聖体行列をした。(十字架の道行き)「巡礼の時には、なぜか雨が降らない。」(マリア様が、喜んで迎えて下さる。)NRCの方が話して居られたのを思い出した。聖母像始め、シスター達とお別れしてホテルに戻る。大広間では宴会たけなわ。大勢の方々の紹介から始まり、会食やカラオケが続いた。

翌朝六時起床、六時半ミサに与り、九時男鹿めぐり観光へとホテルを出発。雨がポツポツと降り始めた。どこまでも続く桜のトンネル。緑が青々としている。四、五月頃には桜祭りがあり、美しい桜を見られたことだろう。寒風山には、日本海から吹きつける風雪で、木々が無く、廻りへの見晴らしは最高という。しかし、バスで展望台近く迄登ったが、生憎と霧がかかっている見られなかった。徒歩で少し下りる途中、霧が晴れ写真に撮ることができた。入道崎に着き、昼食の後、バスは海岸の絶壁の上を、百八十度の美しい水平線と岸壁の数々を眺めながら進んだ。秋田駅近くには、官公庁が並んでいる。駅で私達はバスを降り、田沢湖へ向かう神父様とNRCの方達とお別れした。秋田発十五時十二分こまち五号で盛岡へ、十七時発やまびこ五号で一路東京へ向かう。途中車中からふと暮れ行く山々を眺めると、真っ黒と白い雲が入り乱れて流れて、幻想的な美しさだった。二十時二十四分東京駅に到着、全ての点で、すっかりお世話になった婦人会の方々に感謝しながら、無事帰路についた。

お知らせ

卓球大会

8月31日を予定しております。ふるって御参加下さい。



庭の手入れ

7月20日御ミサ後、壮年会メンバーにより庭の手入れを行います。軍手、草刈り鎌(お家にある方だけで結構です)終了後反省会を予定。

ミサ当番表 (97年7月、8月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
7/16	年間第十四主日	小野	岩 淵
7/13	年間第十五主日	青年会	石 川
7/20	年間第十六主日	婦人会A地区	森 田
7/27	年間第十七主日	上 野	大 宮
8/3	年間第十八主日	石 井	岩 淵
8/10	年間第十九主日	青年会	石 川
8/17	年間第二十主日	婦人会役員	森 田
8/24	年間第二十一主日	井 上	大 宮
8/31	年間第二十二主日	婦人会役員	岩 淵

※当番の方は10分前には集合して下さい。
※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。
(萩原: Tel. 802-6258)

バザー委員会 (第二回)

<6月22日 7人出席>



- バザー券について
イラスト: 教会全体図を入りたい
発行: バザー委員会責任とする
目的: 教会補修、対外支援の名目を入れることが望ましい
賞品: 各等の賞金額、賞品、本数等は寄付の状況による。金券類の募集の呼びかけを8月末締め切りで願います
抽選方法: 各自抽選券を抽選箱に入れてもらう
- バザーチラシ
200枚位発行 近隣: 100枚 (各家庭のポストへ) 信者: 100枚
用紙 カラー A4サイズ
チラシ内容 (清水委員長案)
日時、場所
出し物 手芸製作品、委託品は販売品名を明記する
目的についてはあまりチラシに書かない
雨天決行、駐車場なし等は表示
甲斐さんがバザー券、チラシを作成して下さい
会場レイアウトはこれから検討
- バザー委員会からのお願いの掲示
金券類、新品雑貨等の寄付の呼びかけ、清水さんが案を作成し、近日中に掲示
- 模擬店開催届 保健所へ書類提出 (バザー開催日10日前)
各責任者を取り決め、各品、販売値段などを壮年会、婦人会で打ち合わせ
- 一二三商店によるもやし販売
小谷氏より申し入れあり (資料提出)
- 第三回バザー委員会開催日 7/27(日)とする

委員会だより

<6月8日(日) 11名出席>

- 【1】財務報告: 97年4、5月決算報告を了承。
建設献金は120口予定に対して5月現在91口。なかわだ会報6月号に清水さんが書かれた様にあと一息です。信徒の皆様のご協力をお願いします。
- 【2】お知らせコーナー:
(1) 4月27日に二俣川教会にて、「聖歌の集い」が挙行された。
➢ 中和田からの参加者は、山手、二俣川について3番目に多かった。協力有り難うございました。
➢ 今回は、初めての試みとして(中和田からは時間が無いので参加しなかったが)、「特別聖歌隊」が発足した。中和田教会としても、次回から参画したい。
➢ 恒例となった、小谷さんのハーモニカを、皆さんが楽しみにしている。
- (2) 5/23~5/26の山崎神父様の、日本鉄道カトリック

- の会へのご出張: 今回は留守当番を婦人会にお願いした。有り難うございました。
- (3) 4/29末吉教会 120年祭、5/5藤が丘教会献堂式: いずれも清水さんが出席。藤が丘教会は、25周年で建替えた由。
 - (4) 5/18に宣教委員会が藤沢教会で開催され、七浦さんはじめ委員が出席した。
第5地区の案内マップをつくる計画あり(各教会紹介文、写真、地図、など)。
 - (5) 5/25に第1回目バザー委員会を開催
バザー券は、200冊発行予定。6/22に第2回目委員会を開催予定。
 - (6) 6/30~7/3に山崎神父様が、研修の為、中軽井沢修道院にご出張される。当番表を貼り出すので、ご協力をお願いします。
 - (7) 6/29は山崎神父様の霊名の祝日...霊的花束と金一封を差し上げる。
 - (8) 冠婚葬祭の規定をつくる件:
➢ 平瀬さんより、他の教会の事例紹介あり:
➢ F教会の場合: パンフレット準備されている。
1) 葬儀: 15万円
2) 結婚式: 10万円(信者の場合)、15万円(未信者の場合)
➢ Y教会の場合: パンフレットなし。
1) 葬儀: 規定なし
2) 結婚式: 15万円
➢ 他の事例をご存知の方がいらっしゃいましたら、情報提供をお願いします。

【3】お話し合いコーナー:

- (1)今年度の要理学校の近況:
新1年生: 0、2年生: 1、3年生: 2、4年生: 1、5年生: 1、6年生: 0 ... 合計6名
- (2)お聖堂の清掃について議論あり。
➢ 現在、第2、第4日曜ミサ終了後、全員で清掃(掃除機、モップがけまでやる)することをスタートしたが、日曜日が5回ある月など、課題が残っている。これら課題に関し、壮年会、婦人会で詰めることとした。
➢ 第2、第4のみならず、毎週全員掃除としたらどうか、...などの意見が出た。



- (3) 本年度卓球大会: 8月31日に開催することで決定。
- (4) 本年の「敬老の日」のお祝いの対象者は、52名にのぼる。本件、13万円で予算化されている。例年通り、御絵等の準備も行う。
- (5) 教区より「司教館、教区事務所の建設(建替え)」協力要請状が来た。本件に関する教会委員長の集まりが開催される。清水さんが出席される予定。(第5地区は7/6)